



平成30年4月26日

各 位

会 社 名 株式会社日本トリム  
代 表 者 名 代表取締役社長 森澤 紳勝  
(コード番号 6788 東証第一部)  
お問い合わせ先 取締役管理本部長  
田原 周夫  
(TEL 06-6456-4600)

### 通期個別業績の前期決算値との差異に関するお知らせ

平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の通期個別業績の差異について下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期個別業績の差異

|                       | 売上高           | 営業利益         | 経常利益         | 当期純利益        | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 前期実績（A）<br>（平成29年3月期） | 百万円<br>13,699 | 百万円<br>1,878 | 百万円<br>3,196 | 百万円<br>2,635 | 円 銭<br>313.66  |
| 実績値（B）<br>（平成30年3月期）  | 12,243        | 1,001        | 1,120        | 908          | 110.16         |
| 増減額（B－A）              | △1,456        | △877         | △2,075       | △1,727       | －              |
| 増減率（%）                | △10.6         | △46.7        | △65.0        | △65.5        | －              |

#### 2. 差異の理由

売上高の減少要因は、前期の水素水に関する一連の報道による影響が当期におきましても尾を引き、販売効率が低下したことが主な要因です。なお、日本国内で高まる健康経営への関心を背景とした整水器の企業一括導入や営業社員教育の強化などにより、販売効率の低下は当期上期で底を打ち、下期においては回復基調となっております。第4四半期では販売台数が前年同期を上回り、新製品投入による販売単価上昇も奏功し、売上高は前年同期比を越えて推移しております。

営業利益の減少要因は、売上高減少に伴う減少のほか、契約損失引当金275百万円の計上によるものです。

経常利益、当期純利益の減少要因は、上述の要因に加え、平成29年3月期において連結子会社からの受取配当金1,220百万円が発生したことによるものです。

以上